

学校関係者評価報告書

愛媛県立北条高等学校

学校番号（ 19 ）

評価実施日		令和7年2月12(水)	
委員	氏名	所属等	備考
	梶原 富彦	梶原動物病院長	
	宮内 康輔	北条地区まちづくり協議会事務局長	
	山地 真人	北条ふれあいセンター館長	
	大黒屋貴稔	聖カタリナ大学人間健康福祉学部長	
	田中 匡史	北条浅海郵便局長	
	池田 浩二	北条北中学校長	
	杉野 巻男	元堀江小学校長	
	本山理恵子	北条高等学校PTA会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学校生活全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活を明るく爽やかに送ろうとする姿が見られて好感が持てる。体育大会や文化祭を参観させていただいたが、開かれた学校づくりができていてよい。 ・生徒は挨拶がよくできており、清々しい。また、清掃が行き届いており、校内でゴミを見たことがない。今後も指導を継続してほしい。 <p>(2) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の立てた目標やマニフェストに沿った充実した教育活動を行うことができています。 <p>(3) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年次生の「総合研究」全体発表会では、大人では興味を持たないテーマを発見し、研究をしていて、どの発表も面白かった。生き生きと発表している姿に感動した。 <p>(4) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は自転車通学生の交通事故が多いようだが、一度の事故でも人生を奪う恐れがある。交通安全教育を徹底してほしい。 <p>(5) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吹奏楽部等、地域の活動に積極的に貢献できている。今後も継続してほしい。 <p>(6) 人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭が盛大に開催されているなか、盛り上がりが見られず、一人にさせず、そっと寄り添う生徒の姿が見られた。そのような生徒を今後も育ててほしい。 <p>2 学校運営への提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動や地域貢献活動など、北条高校には魅力的なコンテンツがあるが、その魅力を伝えきれていないのでは。Instagram等のSNSを活用すべきではないか。 ・北条高校の抱える様々な課題を教職員のみで解決することは難しいと考えられ、地域や様々な機関と一層の連携を図ることが重要ではないか。 	<p>・今後も、少人数教育のメリットを生かし、明るく、爽やかに、希望を持って学校生活を送る生徒を育成していきたい。</p> <p>・挨拶や清掃活動は、人間生活の基本となるべきものであり、今後とも指導を継続していきたい。</p> <p>・生徒一人一人の基礎学力の定着を支援する個別最適な学びを目指し、授業改善を推進していきたい。また、主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、研究を続けていきたい。</p> <p>・「総合研究」は総合学科の学びの集大成となるものであり、1年次の「産業社会と人間」、2年次の「総合学習」を礎として、今後も内容の充実を図りたい。</p> <p>・あらゆる場面を通じて、安全・安心な登下校に向けての指導を行っていきたい。特に、自転車通学生に係る事故は重大事故につながる可能性が高いので繰り返し指導を行っていきたい。</p> <p>・今年度も愛媛マラソンのボランティアに100名を超える生徒が参加したが、今後も地域の活動に積極的に貢献し、その情報を発信していきたい。</p> <p>・自他の存在や生き方を尊重する生徒の育成に引き続き取り組んでいきたい。</p> <p>・多様なメディアを通じた情報発信の在り方については、今後、検討したい。</p> <p>・学校評議員、学校関係者評価委員を中心に地域の多様な皆様の声を真摯にお伺いし、学校運営に生かしていきたい。</p>